

第1回懇話会での主な意見要旨と対応表

項目	主な意見	対応方針・考え
策定体制について	<ul style="list-style-type: none"> 策定体制で一番の鍵になるのは市内検討会とワーキングであり、周辺市街地も含め、各地域の特徴をしっかりと把握し、各地域のことを考える担当を置くべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市創造部内で各地域の居住者で構成する担当者会議を設置を進めたい。
土地利用・都市施設整備方針について	<ul style="list-style-type: none"> 工業振興の観点から、農業振興との調和も図りつつ、工業用地の確保・集約や、インターチェンジと市街地とのアクセスについて検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの「土地利用方針」や「都市施設整備方針」の中で示したい。
検討方針について	<ul style="list-style-type: none"> 従来型の他の自治体と同じような計画ではなく、新しい視点で、新しい分析、ケーススタディを行い、高岡市の目指すコンパクト・アンド・ネットワークの都市構造を具体化すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、地域ごとに分析を行い、都市の弱点だけでなく強みの部分も把握した上で、どんなまちづくりを目指すのかストーリーを検討したい。
	<ul style="list-style-type: none"> 高岡市の将来人口を前提として、市民の立場から、どのようなまちを目指すのかを示すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略において掲げた将来人口125,000人(H72)や、総合計画で示した土地利用概念図・計画図で掲げた都心エリアや周辺市街地エリアの考え方を踏まえて具体化した。
現状把握について	<ul style="list-style-type: none"> 子育てが魅力的にできる環境にすべき。 地域別の分析に加えて、ぜひ年代別の特徴も把握すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画策定時のアンケート結果を地域別・年代別で集計し、課題等を抽出したい。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化に関しては経済の視点が重要であり、過去の施策がどのようにまちの発展に影響したのかなど、地域でどのようにお金が循環しているか把握するため、産業連関分析を実施を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略策定時に高岡市の地域経済を産業大分類別に取り流入額や付加価値額等を分析・把握しており、今後、その点を踏まえ、将来の都市像を示したい。